



## 1 医療機関

### 1-3 診察の流れ

#### (1) 初診時の一般的な流れ

まず病気、けがに対応できる医院、病院を探し、その医院、病院の受付に健康保険証を提出します。健康保険証を提出したら、待合室で待ち、診察、会計、薬の受け取りという流れで行われます。具体的には次の通りです。

#### 1. 病気、けがで治療を受けたい

その病気、けがに対応できる医院、病院を探します。

#### 2. 医院、病院へ行く

受付に「初診です」といって健康保険証を出します。このとき、多くの場合、受診申込書や問診票などに必要事項などを記入することになります。問診票とは、現在の病気の症状や病歴(既往歴)、アレルギーの有無などを記入する用紙のことです。記入し終わったら、それらの用紙を受付に戻し、待合室で待ちます。

#### 3. 診察

名前を呼ばれたら、診察室に入り、診察を受けます。必要に応じて、検査や処置があります。また、必要に応じて、次の予約をします。

#### 4. 会計

医療費の支払いは主に現金です(一部カード払いが可能などところもあります)。診察の終わった後、看護師から会計書類を渡されることもあります。そ





ばあい かいけいしよるい かいけいまどぐち だ わた りょうしゅうしょ ほかん  
 の場合は、その会計書類を会計窓口に出します。なお、このときに渡される領収書は保管しておきましょ  
 げつ いりょうひ こうがく ひ ほけんしゃ しょとくすいじゆん こと つうじょう えん こ がく  
 う。1カ月に医療費が高額(被保険者の所得水準により異なりますが、通常80,100円を超える額)になると、  
 いりょうひ ぶ しきゅう ねんかん まんえん こ ぜいきん やす  
 医療費の一部が支給されます。また、1年間に10万円を超えると税金が安くなることもあります。どちらも  
 りょうしゅうしょ ひつよう  
 領収書が必要です。

### くすり う と 5. 薬の受け取り

かいけい とき わた しよほう も ちようざいやっきよく  
 会計の時に渡される処方せんを持って、「調剤薬局」と書かれてある  
 やっきよく い くすり う と くすりだい べつと しはら  
 薬局へ行き薬を受け取ります。薬代はここで別途支払います(これを  
 いんがいやっきよく なか びょういんない やっきよくまどぐち ばあい  
 院外薬局といいます)。中には、病院内に薬局窓口がある場合もあ  
 ばあい かいけい なか やくだい ふく いんないやっきよく  
 り、その場合は会計の中に薬代が含まれています(これを院内薬局と  
 いいます)。



さいしん しんさつけん も さいしんき さいしん うけつ きかい じゆんか うけつけ うけつけ もう こ ば  
 \*再診のときは、診察券を持って再診機(再診を受付ける機械)または受診科で受付をします。受付で申し込む場  
 あい あと てじゆん しょしん おな  
 合もあります。その後の手順は初診と同じです。